

ホソハンミョウ

Cylindera gracilis

兵庫県：B

環境省：絶滅危惧Ⅱ類(VU)

種の概要

体長10～12mm。体表面は藍黒色で光沢は鈍い。上翅は淡黄色と赤色の斑紋があるが変異が多い。上唇は中央が縦にふくれ、前縁に先の尖った1歯をそなえる。草原や疎林林床に生息し、成虫は日中に活動するがきわめて素早い。成虫は夏頃に現れ、初秋まで活動する。



写真提供：森正人

国内分布

北海道、本州、四国、九州

県内分布記録

神河町、養父市、香美町、新温泉町

選定理由

人為性		特殊生息環境	学術性		
個体数激減	生息環境激変		分布が極限	分布の限界	希少
		○	○		

特記事項

CランクからBランクに変更。
本種の生息にはある程度の規模の草地環境を必要とするが、そのような環境が減少している。また、生息が維持されている場所でも環境規模が小さくなり、環境悪化が進んでいる。絶滅が危惧される。

保護上の留意点